

講演会

演者紹介

0/9 日 13:30-15:00

演者テーマ

科書を書く医師から、
科書に載る医師へ

東北大学医学部
血管外科教授

野 篤 先生

12年より順天堂大学医学部心臓血管外科教授を
務められており、オフポン
動脈バイパス術の第
一者として名高い先生
です。その手腕を買われ、
2年2月には東大病院で行われた天皇陛下の冠動脈バイ
手術を執刀し、見事成功を収められました。



10/10 日 10:30-12:00

講演テーマ

奇跡のすぐそばにということ
～周産期医療を喋り倒す～

りんくう総合医療センター周産期センター
産科医療センター長兼産婦人科部長

荻田 和秀 先生

長年大阪府泉州地域で周産
期医療に尽力され、2014年
には日本でまだ6例しか実施
の報告がない死産期帝王切
開に成功されました。漫画
『コウノドリ』の主人公のモデル
でもいらっしゃり、産婦人科医であると同時にジャズピアニスト
としても活躍されています。



10/10 日 13:30-15:00

講演テーマ

発展途上国の現状と
国境なき医師団の活動

国境なき医師団日本
元会長

臼井 律郎 先生

1984年東北大学医学部ご
卒業。94年に国際赤十字から
パキスタンに赴任され、以
来紛争地域をはじめとした世
界各地で医師として奮闘さ
れました。2005～07年には
国境なき医師団日本会長として世界各地の医療・人道援助活
動の最前線でご尽力なされました。



開催企画の紹介

市民公開講座

東北大学医学部の先生による講座を開催します。医療への関心の高まりから
様々な情報が世間に溢れている中、ここでは研究に基づいた正確な知識を得る
ことができます。医学部の授業の雰囲気も味わえるまたとない機会です。

医療手技体験

「病院で医者は何を診ているのか、そしてどんな治療をしているのか?」とい
ったことが知りたい方へ向けて、体験を通して知識を深めていただける企画です。
聴診、超音波検査、腹腔鏡や電気メスなどを体験することができます。

研究者になってみよう!

医学部で行われている研究とはどのようなものか、実際に実験を通して体験す
ることができます。自分の細胞を顕微鏡で見たり、遺伝子の大きさを体感したり、
オリジナルストラップもお土産にどうぞ!

学生と語ろう

医学部学生と話せる場所です。受験相談から将来のことまで何でも聞いて下
さい!

出産と子供の発達～私たちが大人になるまで～

ひとりの人間が誕生し、成長する過程を学べます。学生による助産シミュレーシ
ョンの実演や、器具を用いた妊婦体験を行います。誕生した子供が大人へ成長す
るまでの過程と、日本における子供の貧困について展示をします。

生活と救命救急

心肺蘇生、外傷対応、熱中症対策や誤嚥、窒息への対応を学べます。いざと
いう時のために、生活により近い救急医療の知識を深めましょう!

災害医療～トリアージを通じて～

震災をはじめとし、現在日本では数多くの災害に見舞われています。災害が起
こった時に1人でも多くの命を救うためにどんな対応がなされるのかを学べます。

⑧救急車に乗ってみよう!

医学部に救急車がやってきます。救急車の中はどうなっているのか、どんな器
具や設備を備えているのかを見てください!

⑨エンターテイメント

特設ステージにて、軽音やダンスなどのパフォーマンスを行います。また、ドク
ターT(総合診療医)やクイズ大会など、来場した皆さんに楽しんでいただける企
画で医学祭を盛り上げます!

⑩ぬいぐるみびょういん

小学生低学年までの子どもを対象に、ぬいぐるみを患者に見立てて行うごっこ
遊びをします。体や医療に興味を持っていただけるような体験を織り交ぜます。

⑪体内年齢を調べよう!

自分の体の重心バランスや活動量、血管年齢を測定します。自身の体につい
て調べてみましょう。

⑫模擬店

学生や大学関係者による模擬店を出します。どんな店があるかは当日来るまで
のお楽しみですよ!

⑬サイエンティフィック・イラストレーションの世界

サイエンティフィック・イラストレーションとは、科学的・医学的な情報や知識を
表現した説明図のことです。会場では作品やそれを製作するプロフェッショナル
の活動を紹介します。

主催: SciMeCLab

共催: 日本メディカルイラストレーション学会設立準備委員会

協力: Tane+1

What's 医親伝心?

今回のテーマである“医親伝心”には、

- 来場者の皆様により医療に親しんで(医親)いただける医学祭となるように
 - 来場者の皆様と心を通わせ(伝心)られる医学祭となるように
- という二つの意味が込められています。

地域の皆様と学生が直接触れ合いながら、医学、医療について
お互いの理解を深めることが出来る医学祭にできればと考えております。

